

# 和地ひとみレポート No.140

平成26年東大和市議会第4回定例会：一般質問②『東大和市の学力向上のための取り組みについて』  
市は学校教育の改善にもっと積極的になるべき

## ■教育委員会の現状認識は

…12月2日から開催されていたH26年東大和市議会第4回定例会において、和地ひとみは以下の2つのテーマについて一般質問をおこないました。

### ① 市民協働について

(※この項目の内容についてはNo.139に掲載)

#### 1 市の考える市民協働について

- ⇒現在、市民協働の指針を作成しているが、それはどのような位置づけになり、それができることによつてどのような効果が期待できるものなのか。
- ⇒市民と行政が協働する方法は様々あると思うが、どのような方法が考えられるか。

#### 2 現状について

- ⇒現在の市民協働の取組はどのようなものがあるか。
- ⇒市が考えている市民協働の方法のなかで、現在まだ取り組めていないものは何か。
- また、その課題と課題を解決する方法について今後取り組むべきことは何か。
- ⇒現在、実現している協働についての課題はあるか。

### ② 東大和市の学力向上のための取り組みについて

- 1 平成26年10月29日の教育の日やまとの企画として開催された『学力向上 東大和市の取り組み』について
- ⇒アメリカンサマーキャンプ参加者の発表があり、非常に効果があると感じた。教育委員会としてはどのように効果を分析し、今後、どのように活用し、広がりを持たせようとしているのか。
- ⇒全国学力・学習状況調査の結果から、どのような課題があると分析しているのか。また、その解決策は
- ⇒各中学校区の取り組みについての発表について、どのような発表内容を要望したのか。
- ⇒この会を開催したことで、新たに発見できた課題はあるか。また、それら課題についての今後の対応について。

…このレポートのNo.137でも取り上げた「教育の日やまと」の企画『学力向上 東大和市の取り組み』の発表会では、その発表内容、参加された先生方の居眠りなど、気になる問題点が多くありました。多くの市民の方が課題だと感じている東大和市の児童、生徒の学力については様々な要因があるとは思いますが、こと、教育のプロである先生方、そして市内の児童生徒が学ぶ市立学校の授業内容は学力に大きく影響することは間違いありません。

…また、今年初めて東大和市も参加した「アメリカンサマーキャンプ」について、その効果を教育委員会では、どのように分析しているのかも知りたいところです。そこで、市の教育全般をつかさどる教育委員会の見解を確認すべく、このテーマを取り上げました。

## ■アメリカンサマーキャンプ その効果と活用は

…まず、アメリカンサマーキャンプの効果については、教育長から「本市の中学生が外国人リーダーと3日間生活を共にすることで、初めは戸惑いを見せていた生徒たちだが、次第に英語でのコミュニケーションを図る姿が見られた。また、他市の生徒とも交流し、打ち解け合うなど、大変よい効果が得られたと感じている。教育委員会としては、アメリカンサマーキャンプに参加した生徒が、異文化交流体験の良さについて発表する場を設定することで、今後より多くの生徒が興味関心を持つよう工夫していく」との答弁がありました。

…アメリカンサマーキャンプでは英語を自分で実際に使うことによる英語への効果はあると思いますが、それ以外にも効果はあったと感じます。そこで、具体的な効果について確認したところ「アメリカ人のカウンセラーから積極的にコミュニケーションを取ろうと働きかけがあり、参加した生徒が積極的にコミュニケーションを取ることができるようになってきたことが大きな成果だ。また他国の文化に触れる機会がとても多くあり、多様な考え方があるということを学ぶことができたことが大変大きかった」とのことでした。さらに指導者側としても「アメリカ人カウンセラーのように、子供の気持ちを高めていく、また子供たちを褒めていくこと、そして子供が発表するときに安心させる、相手の考えを認めてあげるといったような勇気づけ等ということを含め、表現力を高めていくということが、体験としては大きかったと考えている」との答弁がありました。

…一括りに「東大和市の子ども」と言っては乱暴だとは思いますが、当市の児童、生徒は奥ゆかしすぎる部分もあるという声が市民や学校から聞こえてくることもしばしばあります。

今回のアメリカンサマーキャンプでの効果や気付きは、ぜひ活用して市内に広めてもらいたいものです。その点について教育長は「今年、東京オリンピックの2度目の開催が決まり、教育委員会でも、いよいよ国際理解教育、あるいは異文化交流の機会をもっともっと子供たちに体験させなければならないと感じている。

二小で続いているドイツとの交流、また五小も今年アセアンとの交流を始めた。いじめシンポジウムにも外国の方をお招きして、外国の方から見た『いじめについて』を共に考える機会を持った。

(裏面につづく)



こうした様々な取り組みの中から、課題や成果がだんだん見えてきているので、一層、国際理解、異文化理解についての教育を進めていきたい。アメリカンサマーキャンプで、アメリカの方から一番指摘を受けたのは、やはり『表現力が足りない』ということ。しかし、何回かやるうちに、随分子供たちも変わってきて成果が見られて良かったと思っている。このような体験を活かしていきたい」とのことでした。

## ■発表内容の問題？

…同じ発表会で行われた各中学校区の『学力向上への取り組み内容』の発表の時間では、多くの先生が居眠りをしている残念な状況でした。同じ会場には保護者、地域の方たちが参加している中で、その光景は、教育に協力しようという方々との信頼関係を一掃しかねないと心配になるほどでした。

…まず、この会には市内の全教員が参加していたのかを確認したところ、全教員参加とのこと。では、このような残念な光景になってしまったことについては、先生方の疲労が原因なのか、それともプロ意識の欠如なのかといったような分析はしているのかを確認しました。

それについては「この会は他校で学力向上等についてどのような取り組みをしているのか、教員は意外と知らない面もあるので、気付きを得られる場として開会した。しかし、時間が過ぎるにつれ、居眠りが発生していた。疲れかプロ意識の欠如かという部分は分析していないが、教育委員会としては、教育公務員が公務として参加している事業なので、それを自覚して参加するというのは当然のことだと考えている。今後は企画する際、教育委員会も、テーマやプログラムなどについては、しっかりニーズを把握し、それに合わせていく内容にするということが必要だと考えている」との答弁でした。

…当日は、参加者にアンケートを依頼していたが、公務として、また、研修として参加している先生方からもアンケートをとり、分析をしているのでしょうか。その点については、アンケートは回収したが、現在、まとめているところだとの答弁でした。『東大和市教育委員会の権限に属する事務の管理、執行上の点検及び評価』という資料の中には『教員研修の充実』という項目があり、そこには『階層に応じて人事考課と連動した研修』という言葉が入っています。これは能力開発型の研修ということですが、能力開発以前の部分の研修も充実が必要だと思います。

…今回の発表会開催の目的について教育長からは「市民の皆様、学校がどういうことに取り組んでいるのかを理解いただくような発表をしたいと思い開催した」とのコメントがありました。

各中学校区の発表内容については「取り組みをしたが、結果は昨年より悪くなった」ということで発表内容を締めくくっている中学校区が複数ありました。教育長のコメントの発表会開催の目的なら、一般的な感覚では、取り組みの結果を受け、今後どのように取り組んでいくかということまで発表されないと市民からの理解は得られないと感じます。その点について確認すると「御指摘のとおり、次にどのような策をとるのかという説明が足りなかった。学校では、当然考えているはずだ。ただ、教育委員会から、PDCA (Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Act (改善)) に沿って話をしてほしい、具体的に話をしてほしいという風に学校に依頼していれば、期待にお応えできるような回答が出てきたと思っている。来年度は改善したい」との答弁でした。

## ■同じ東京都採用教員だが



…『全国学力・学習状況調査の結果』の中で、小学生が回答している『授業の目当てや狙いが不明瞭』中学生が回答している『話し合い活動が少ない』という項目では、東大和は非常に悪い結果。これは

先生の授業内容の問題です。一方で、先生方は東京都で採用されているので、他自治体でも授業をされています。このようなことを考えると、先生のモチベーションの問題ではないか、その原因の一つに、東大和市の教育費が低いため、先生方は思うような授業ができないということがあるのではないかと考えました。その点については「教育委員会訪問、指導主事の学校訪問では、必ず全国学力・学習状況調査のデータを示し、具体的な改善点を説明している」「先生方のモチベーションを高めていくことは大変重要。教員のやる気を引き出している学校が市内にはあるので、その取り組みを他の学校にも紹介したい」「東大和市の教員も、色々と都内を異動されている。そういう方のお話では、各市区の状況に応じ予算規模は違うが、財政的なことを勝るものが東大和市にはあるという前向きな方が多いと感じている」との答弁でした。

…子供にとっての1年という時間は重要です。教育委員会が新たなことに挑戦していることは、学校長の情報発信の変化からも伺えます。今後は、一刻も早く、そのような変化を現場の先生方にも浸透させ、少しでも早く、子どもたちが実感する変化を生み出すべきだと考えます。学校教育は、行政が担う重要な役割です。その改善が見られない結果を真剣に受け止め、市は更に積極的に取り組む必要があると要望しました。

## 市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

### 「市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」 【プロフィール】



東大和市 市議会議員  
和地 ひとみ

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。／「人を活かす」経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。／同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。現在、新人東大和市議会議員として、日々、奮闘中。

年内のレポート配布はこの号までとします。  
年明けは5日からスタートします。  
良いお年をお迎えくださいませ…

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>  
✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp) 【電話・FAX】 042-516-8546  
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102